

## 国民体育大会における アスレティックトレーナーのあり方について

日本体育協会公認アスレティックトレーナー（以下、「JASA-AT」という。）は、スポーツ現場においてスポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、スポーツ選手の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどを担当する健康管理の専門家である。

選手の健康管理、安全管理への関心が高まっている昨今、その果たす役割・意義は大きくなっており、国民体育大会（以下、「国体」という。）においても、既に多数の JASA-AT が様々な立場で活動を行っている。しかし、そのあり方が明確に位置づけられていないため、選手等のサポート活動が十分に行われず、JASA-AT を取り巻く体制の整備が急がれている。以下に、国体におけるアスレティックトレーナー（以下、「AT」という。）の役割、更には具体的な業務モデルを示す。

### I. 国体における AT の役割を果たす場面

#### <本部役員の AT>

##### 1. 都道府県選手団本部役員として帯同する AT（帯同 AT）

※「開催基準要項 第 31 項 参加選手団本部役員編成」で定める本部役員としての AT

#### <補足① 参加選手・チームの AT>

##### 2. 参加選手・チームに帯同する AT（競技団体支援 AT）

※「開催基準要項 第 31 項 参加選手団本部役員編成」で定める参加選手団以外の AT

#### <補足② 開催地（運営者）側の AT>

##### 3-1. 競技会場における救護所・救護班の構成員としての AT

※各大会で定める「医療救護要項」で定める AT（構成員に AT が入らない大会もある）

##### 3-2. 開催地準備委員会・実行委員会における AT

### II. 国体における AT の業務モデル～役割～

#### 1. 都道府県選手団本部役員として帯同する AT（帯同 AT）

##### (1) 国体開催前

①日頃からの競技団体強化合宿でのコンディショニングサポート

②各競技団体の強化等の支援を行う競技団体支援 AT との連携

- ・ 情報、マンパワー、環境（トレーニング施設、医療機関、研究機関など）等の支援を行う。

③帯同ドクターとの連携

- ・ 帯同ドクターの実施するメディカルチェックの際の人的支援（検査補助、入力補助）を行う。
- ・ 開催地の医療・救護関係情報の収集を行う。

- ④選手団からの関連情報の各競技団体、関連スタッフへの伝達
- ⑤各競技団体関連スタッフの情報収集及び把握（メンバー、スケジュールなど）
- ⑥選手団持参用品類の確認、手配、準備

## (2) 国体開催期間中

- ①選手団におけるATとしてのコンディショニングサポート活動
  - ・ 競技会場・宿舎において競技団体支援ATを準備できない競技団体、人手が足りない競技団体など依頼のあった現場に対する支援活動を行う。
- ②ドクターズ・ミーティングへの参加
  - ・ 国体総合開会式前日に開催されるドクターズ・ミーティングに参加し、国体における関連分野の情報を収集する。
- ③各競技団体支援ATとの情報整理・交換・支援、環境支援
- ④ドーピング検査への対応
  - ・ 帯同ドクターが対応不可能な場合、その代行者として検査に立ち会う。当然ドーピング検査に関する教育を受けているものが望ましい（JASA-ATは養成カリキュラムに含まれている）。
- ⑤各現場でのAT活動の正常化、視察
- ⑥その他
  - ・ 帯同ドクターと連携し、1)食事 2)環境 3)感染症等に対する環境面の適切な指導、対応を行う。
  - ・ 日報集計を行う。

## (3) 国体開催後

- ①活動状況に関する報告書作成
  - ・ 各競技団体における関連活動、環境について報告する。
- ②各競技団体支援ATとの情報交換
- ③選手団持参用品類の整理、在庫確認

## 2. 参加選手・チームに帯同するAT（競技団体支援AT）

### (1) 国体開催前

- ①日頃からの競技団体強化合宿・競技会におけるコンディショニングサポート
- ②選手団本部役員帯同ドクター・ATとの連携（報告、連絡、相談）
  - ・ 緊急時の連絡方法ルールの確認、作成を行う。
  - ・ 開催地の医療・救護関係情報の収集を行う。
- ③帯同ドクターの実施するメディカルチェックの補助
- ④選手団からの関連情報の収集及び把握

## (2) 国体開催期間中

### ①選手団におけるATとしてのコンディショニングサポート活動

- ・ 競技会場・練習会場・ウォーミングアップエリア・宿舎における選手のサポートを行う。

### ②ドクターズ・ミーティングへの参加

- ・ 国体総合開会式前日に開催されるドクターズ・ミーティングに参加し、国体における関連分野の情報を収集する。

### ③選手団本部役員帯同ドクター・ATとの連携および情報交換

### ④競技会場、練習会場、宿舎における緊急時の対応（医療機関、救護施設、場所、連絡方法）と確認

### ⑤ドーピング検査への対応

- ・ 帯同ドクターが対応不可能な場合、その代行者として検査に立ち会う。当然ドーピング検査に関する教育を受けているものが望ましい（JASA-ATは養成カリキュラムに含まれている）。

## (3) 国体開催後

### ①活動状況に関する報告書作成

### ②選手団本部役員帯同ドクター・ATとの情報交換

### ③選手団持参用品類の整理、在庫確認

### ④日頃よりの競技団体強化合宿・競技会におけるコンディショニングサポート

## 3-1. 競技会場における救護所・救護班の構成員としてのAT

**スポーツ外傷の救急処置や傷病者搬送など、ドクター等医療関係者の補助業務を行う。**

### (1) 国体開催前

- ・ 救護所運営打合せ、準備業務補助を行う。

### (2) 国体開催期間中

- ・ 救護所構成員として、一次救命処置（心肺蘇生法、AEDの扱い）、スポーツ外傷の救急処置（RICE処置や固定法等）、傷病者搬送業務を行う。
- ・ 救護所運営関係者との連絡、報告業務を行う。

### (3) 国体開催後

- ・ 活動状況に関する報告書を作成する。
- ・ 救護所備品・消耗品類の整理、在庫確認を行う。

### 3-2. 開催地準備委員会・実行委員会における AT

**開催地 AT として AT 環境整備、支援活動を専門家の視点から支援活動を行う。**

#### (1) 国体開催前

①準備委員会・実行委員会として AT 関連事項に関する業務確認、打合せ、準備活動を行う。

#### ②AT 活動環境の整備

- ・ 会場内に公共コンディショニングスペースの設置準備（個人競技）  
（各会場、市町村、競技団体との設置確認、AT 人員確保(管理者含む)、備品消耗品準備、場所確認(屋外の場合テント確保)
- ・ 帯同 AT に対するウォーミングアップエリア、試合会場、ウォーミングアップエリアへの通行証発行または活動方法確認

③競技会場、練習会場、宿舎における緊急時の対応（医療機関、救護施設、場所、連絡方法）

- ・ 資料作成

#### (2) 国体開催期間中

- ・ 公共コンディショニングスペースの管理、運営。
- ・ 実行委員会関係者との連絡、報告業務を行う。

#### (3) 国体開催後

- ・ 活動状況に関する報告書作成
- ・ 公共コンディショニングスペース備品・消耗品類の整理